

# 日本語教員養成課程

## 日本語教員養成課程について

日本語教員養成課程とは、外国人に対して日本語を教える教員になるために必要な特別の教育を行うもので、この課程を履修して所定の授業科目および単位を修得した者には、卒業時に本学から「日本語教員養成課程修了証明書」が発行されます。

周知の通り、日本に來住する外国人は増加しており、外国における日本に対する関心や日本語熱も高まりを見せています。そうした国際化の状況の中で、外国人に日本語を教える教育ならびに教員の必要性が、国の内外で強調されるに至っています。

文部省は、日本語教育施策の推進に関する調査研究会を設置して、外国人に対する日本語教育のあり方等について諮問しました。その調査研究会の報告「日本語教員養成等について」（1985年5月）は、日本語教育の専門家として最低限必要な知識・能力を備えた教員の養成のために、大学の学部日本語教員養成課程を設けることを提案し、そのための標準的な教育内容を提示しています。文学部の日本語教員養成課程はこれに準拠して開設されたものです。その後2001年に、文化庁の諮問を受けた日本語教員の養成に関する調査研究協力者会議の答申「日本語教育のための教員養成について」が示されたため、2004年度入学生以降カリキュラムを変更するなどの見直しを行いました。

この課程を修了しても、すぐ日本語教員になれるというわけではありません。しかし、課程を修了すれば、日本語教員としての専門的な教育を受けたことが社会的に承認されることになるでしょう。

文学部としては、この課程教育を通じて、優秀な日本語教員を養成し、国際理解の促進に貢献したいと考えています。

## 履修手続き等について

日本語教員養成課程を履修するには、各年次で以下の手続きを行う必要があります。すべての連絡や注意は掲示で行いますので、常に掲示を見るように心掛けてください。

### ■ 履修ガイダンス

4月にガイダンスを行います。以下の点を説明しますので、課程登録を考えている人、および課程登録をしている人で「日本語教育実習」を未修得の人は、必ず出席してください。

- ・日本語教員養成課程の概略、履修方法、課程登録等について
- ・日本語教育の現状について
- ・「日本語教育実習」の履修について

### ■ 履修登録

課程登録を考えている人、すでに課程登録をしている人は、「日本語教員養成課程 授業科目表」に定める、科目区分ごとの修得単位数を満たすように、課程の授業科目を履修して行ってください。特に4年次生は、不足単位を確認し、履修するようにしてください。

日本語教員養成課程の授業科目は、必修科目であっても、配当タームでの履修が必須ではなく、配当タームより後での履修も可能です。とはいえ、3年次配当の「日本語教育実習」を、多くの人は3年次で履修します。その場合、2年次終了までに、後述の「日本語教育実習 履修の前提条件」を満たさなくてはなりません。そのことを念頭において、課程の授業科目の履修を進めてください。

### ■ 日本語教員養成課程登録

日本語教員養成課程を正式に履修する場合、原則として2年次の始めに日本語教員養成課程登録を行ってください。ただし、「日本語教員養成課程 授業科目表」に定める科目の履修は、「日本語教育実

習」を除き、課程登録前から行うことができます。

日本語教員養成課程を登録する人は、所定の期間内に証明書自動発行機で、日本語教員養成課程履修費 1 万円の申請書を購入し、教務部窓口へ提出してください。履修費の納入、申請書の提出をもって、「日本語教員養成課程登録」とします。履修費の納入や申請書の提出がない場合、日本語教員養成課程の履修は認めません。なお履修費は、毎年度納入する必要はなく、課程登録をする年度の始めに 1 度だけ納入してください。ただし、途中で課程の履修を中止しても返金はされません。

### ■ 日本語教育実習 履修の前提条件

3 年次配当の「日本語教育実習」を履修するには、以下の 3 点をすべて満たす必要があります。

- ①前年度終了までに、必修科目 4 科目（日本語教授論Ⅰ・Ⅱ、日本語教材研究Ⅰ・Ⅱ）のうち 2 科目 4 単位以上を修得していること。
- ②前年度終了までに、選択科目 10 科目 20 単位以上を修得していること。
- ③前年度までに日本語教員養成課程登録を済ませていること。（課程登録と実習登録は同年度にできません。）

### ■ 日本語教育実習 履修登録方法

「日本語教育実習」は、複数クラスを設定して授業を行います。クラスは、予備登録を行い、調整のうえ決定します。予備登録期間や発表方法などについては、年度始め行事日程で確認してください。

「日本語教育実習」の履修が決定した者は、所定の期間内に証明書自動発行機で、日本語教育実習費 5 千円の申請書を購入し、教務部窓口へ提出してください。期限までに実習費の納入や申請書の提出がない場合、「日本語教育実習」の履修は認めません。

### ■ 日本語教員養成課程修了証明書の発行

「日本語教員養成課程修了証明書」は、卒業時に所定の授業科目および単位を修得した者について、本人の申請に基づき発行します。

日本語教員養成課程 授業科目について

【2014～2019年度以降入学生】

科目区分		ターム								単位	備考
		第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8		
必修科目	言語と教育	日本語教授論Ⅰ② 日本語教材研究Ⅰ②								8	日本語教育実習履修の前年度終了までに2科目4単位以上修得してください。
		日本語教授論Ⅱ② 日本語教材研究Ⅱ②				日本語教育実習②					
		<b>必修科目合計</b>								<b>10単位</b>	
選択科目	社会・文化・地域	日本美術史A② 日本民俗学A② 日本の歴史と文化A② 文化人類学②								4	日本語教育実習履修の前年度終了までに10科目20単位以上修得してください。  卒業時まで左記の必要単位を充たした上、24単位以上修得してください。
		近現代日本史A[成]② 近現代日本史B[成]② 戦後の日本と世界[成]② 現代日本の地理[成]② 日本美術史B② 日本民俗学B② 日本の歴史と文化B②									
		日本の思想史[成]② 日本文化・文化史特講A② 日本文化・文化史特講B② 発信する武蔵野地域文化② 実践する日本文化② Musashino Culture Studies ② Japanese Culture Studies ②									
		コミュニケーション論入門②									
		世界の言語文化A② 世界の言語文化B② メディア論入門② マス・メディアの歴史② マス・コミュニケーション論② メディア・リテラシー論②									
	言語と社会	コミュニケーションと社会[成]② 出版論②									
		心理	社会心理学② 教育心理学②								
			心理学の基礎[成]② 自己理解の心理学[成]② 社会心理学入門[成]② 脳科学と心[成]②								
	言語	日本語研究の基礎② 日本語の歴史A②								12	
		実践漢字講座[成]② 日本語法② 日本語の歴史B②									
ことばの科学[成]② 日本語学講義A② 日本語学講義B② 日本語学講義C② 日本語学講義D② 日本語学講義E② 日本語学講義F② 上級漢字講座②											
<b>選択科目合計</b>								<b>24単位以上</b>			
<b>必要単位数</b>									<b>34単位以上</b>		

※「日本語学講義A～D」は、重複履修（同一科目を複数回履修すること）が可能です。

「日本語学講義E・F」は重複履修できません。ただし、2019年度までの「日本語学講義E・F」（重複履修可）を1回以上修得した学生が、2020年度以降の「日本語学講義E・F」（重複履修不可）を1回修得することは可能です。

※必修科目および「教育心理学」は卒業に必要な単位に算入されません。履修上限にも含まれません。